

新・平家物語 (1955)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 108分
初公開日 1955/09/21

【解説】

吉川英治の大作歴史小説を、全三部作で映画化するプロジェクトの第一弾。依田義賢、成沢昌茂、辻久一が共同で脚色を行い、溝口健二が初めてカラー作品に挑戦した。撮影は宮川一夫、音楽は早坂文雄が担当。若き日の平清盛を市川雷蔵が演じた。翌年に第二作『新・平家物語 義仲をめぐる三人の女』と第三作『新・平家物語 静と義経』が公開された。

平安末期。長らく続いた貴族社会が衰退し、それに代わって武家社会が台頭してきた。平忠盛は海賊討伐を行うなど活躍するが、永年の貧窮は改善されず、祝宴を行うにも馬を売りに出す始末。忠盛の恩賞問題に関わり謹慎させられた藤原時信の家を訪れたとき、清盛は時信の娘の時子に会い心惹かれてしまう。清盛は酒屋で自分が白川上皇の息子であることを聞かされ、ショックを受ける。

【クレジット】

監督 溝口健二
製作 永田雅一 [製作]
企画 川口松太郎
松山英夫
原作 吉川英治
脚本 依田義賢
成沢昌茂
辻久一
撮影 宮川一夫
美術 水谷浩
編集 菅沼完二
音楽 早坂文雄
助監督 弘津三男
土井茂
出演 市川雷蔵 平清盛
久我美子 時子
林成年 藤原時忠
木暮実千代 泰子
大矢市次郎 平忠盛
進藤英太郎 伴ト
菅井一郎 木工助家貞
千田是也 左大臣頼長
柳永二郎 白河上皇
羅門光三郎 了観

| | |
|-------|-------|
| 夏目俊二 | 鳥羽上皇 |
| 河野秋武 | 平六 |
| 石黒達也 | 藤原時信 |
| 中村玉緒 | 藤原滋子 |
| 十朱久雄 | 関白忠通 |
| 沢村国太郎 | 如空 |
| 香川良介 | 久世治久 |
| 杉山昌三九 | 映範 |
| 南條新太郎 | 秀成 |
| 荒木忍 | 乗円 |
| 東良之助 | 白山寺の僧 |
| 西田智 | 遠藤光遠 |
| 上田寛 | 経行 |
| 小柳圭子 | 遊女玉木 |